



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月8日

上場会社名 ウライ株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 2658 URL <http://www.urai.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 裏井 紳介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務統括本部長 (氏名) 齊木 正一 TEL 075-361-0330  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,872	△0.4	44	—	30	—	862	—
24年3月期第2四半期	4,892	△9.9	△9	—	△23	—	△32	—
(注) 包括利益	25年3月期第2四半期		805百万円 (—%)		24年3月期第2四半期		△50百万円 (—%)	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	80.36	—
24年3月期第2四半期	△3.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	10,362	5,072	49.0	472.66
24年3月期	11,111	4,288	38.6	399.60
(参考) 自己資本	25年3月期第2四半期	5,072百万円	24年3月期	4,288百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年3月期	—	0.00			
25年3月期(予想)			—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,100	△1.3	120	13.3	100	28.7	920	1,017.3	85.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有  
新規 1社（社名）一、除外 1社（社名）株式会社ワソウ

（注）詳細は添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	11,000,000株	24年3月期	11,000,000株
25年3月期2Q	268,461株	24年3月期	268,461株
25年3月期2Q	10,731,539株	24年3月期2Q	10,731,539株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の発表時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外となっております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11
(7) 重要な後発事象	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済情勢は、東日本大震災の影響から緩やかな回復の兆しが見られましたものの、欧州債務危機を起因とする世界経済の減速や、長期化する円高・株価低迷、電力の安定供給懸念等による企業収益への影響が懸念されるとともに、個人消費におきましても雇用情勢や所得環境の厳しい状況下、消費マインドが低調に推移するなど景気は依然として厳しい状況で推移いたしました。

当社グループの属する和装業界におきましても、消費低迷やデフレ傾向における商品単価の下落、また、業種を超えた企業間競争など市況は依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、事業部門取扱商品の相乗効果による販売の強化、消費者への商品提案を中心とした商品開発と原価率改善を目的に商品管理体制の見直し等を行うとともに、販売促進企画の提案や催事展開の効率化、固定費の削減など営業効率の改善に努めてまいりました。

結果といたしまして、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,872百万円と前年同期比20百万円(0.4%)の減少となりました。利益面におきましては、営業効率改善を目指し販売費及び一般管理費の節減に努めた結果、営業利益は44百万円(前年同期は9百万円の営業損失)、経常利益は30百万円(前年同期は23百万円の経常損失)となり、四半期純利益におきましては特別利益に固定資産売却益750百万円を計上したこと等により862百万円(前年同期は32百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① きもの事業

きもの事業におきましては、市場縮小の下、熾烈な企業間競争から厳しい状況で推移いたしました。このような状況の下、当事業では、消費者の方への商品提案に心がけた「和」の文化を活かしたブランド商品やリーズナブルな商品の展開を行うとともに、商品管理体制の改善に基づく商品効率の向上、また、小売店頭活性化への販売促進企画の提案や得意先催事への応援強化等積極的な営業活動の展開と事業効率の改善に努めてまいりました。結果といたしまして、売上高は2,905百万円と前年同期比36百万円(1.3%)増加、セグメント利益におきましては、60百万円と前年同期比22百万円(57.5%)の増加となりました。

#### ② ジュエリー事業

宝石業界におきましては、消費の低迷により高額商品の動きは鈍く概して厳しい状況で推移いたしました。このような状況の下、当事業では、ダイヤ及び色石等素材商品につきましてはファッション性と価格競争力の強化、また、多様な消費者ニーズへの対応を図るべく店頭展開が可能なデザイナーブランド商品の拡充とスペインのブランドである「カレラ イ カレラ」の展開を図るとともに、在庫の縮減等事業効率の改善に努力してまいりました。結果といたしまして、売上高は861百万円と前年同期比46百万円(5.1%)減少、セグメント利益におきましては、14百万円のセグメント利益(前年同期は7百万円のセグメント損失)となりました。

#### ③ ファッション事業

毛皮・レザー等の重衣料商品全般は、最近の温暖化傾向から厳しい状況で推移いたしました。このような状況の下、当事業では、当社取扱ブランド商品を中心に軽量感としなやかさを重視したファッション性の高い商品の展開活動を行うとともに、オストリッチやクロコダイル等爬虫類素材の高級ハンドバッグの拡販に努め、商品管理の徹底、催事効率の改善等事業効率の向上に努力してまいりました。結果といたしまして、売上高は1,105百万円と前年同期比10百万円(0.9%)減少、セグメント利益におきましては、126百万円と前年同期比7百万円(5.7%)の減少となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は10,362百万円となり前連結会計年度末に比べ749百万円の減少となりました。

#### (資産)

流動資産は7,161百万円となり、前連結会計年度末に比べ98百万円の減少となりました。主な要因は受取手形及び売掛金が260百万円の減少に対し、商品及び製品が130百万円増加、貸倒引当金が35百万円減少したことによります。

固定資産は3,200百万円となり、前連結会計年度末に比べ650百万円の減少となりました。主な要因は土地が483百万円、投資有価証券が84百万円減少したことによります。

#### (負債)

流動負債は4,091百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,055百万円の減少となりました。主な要因は短期借入金金が2,202百万円減少に対し、未払法人税等が62百万円増加したことによります。

固定負債は1,198百万円となり、前連結会計年度末に比べ521百万円の増加となりました。主な要因は長期借入金が481百万円、社債が232百万円の増加に対し、再評価に係る繰延税金負債が147百万円減少したことによります。

#### (純資産)

純資産合計は5,072百万円となり、前連結会計年度末に比べ784百万円の増加となりました。主な要因は利益剰余金が1,115百万円の増加に対し、土地再評価差額金が274百万円減少したことによります。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、1,027百万円となり前年同期に比べ10百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は155百万円(前年同期は149百万円の獲得)となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益782百万円、売上債権の減少額270百万円に対し、固定資産売却益750百万円、たな卸資産の増加額130百万円によります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は1,299百万円(前年同期は14百万円の獲得)となりました。主な要因は有形固定資産の売却による収入1,293百万円、投資有価証券の売却による収入25百万円に対し、投資有価証券の取得による支出25百万円によります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は1,464百万円(前年同期は284百万円の使用)となりました。主な要因は短期借入金の純減額2,316百万円に対し、長期借入金による収入610百万円、社債の発行による収入283百万円によります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済の先行きは、依然として不透明であり、当社及びグループ企業を取り巻く事業環境も引続き厳しい状況であることが予想されますが、現段階におきましては、平成24年6月15日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、連結子会社であった株式会社ワソウは平成24年9月25日に清算終了したことにより、連結の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項ありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した建物以外の有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ13千円増加しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,036,518	1,027,720
受取手形及び売掛金	4,057,562	3,796,987
商品及び製品	2,191,839	2,322,557
その他	110,910	115,565
貸倒引当金	△136,400	△101,200
流動資産合計	7,260,432	7,161,630
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,389,547	906,016
その他(純額)	1,067,904	981,226
有形固定資産合計	2,457,452	1,887,242
無形固定資産	502	502
投資その他の資産		
投資有価証券	687,198	602,746
その他	1,172,091	1,153,533
貸倒引当金	△465,764	△443,246
投資その他の資産合計	1,393,526	1,313,034
固定資産合計	3,851,480	3,200,779
資産合計	11,111,913	10,362,409
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,793,792	1,849,418
短期借入金	3,928,930	1,726,680
1年内償還予定の社債	—	58,000
未払法人税等	14,077	76,777
賞与引当金	106,400	91,000
売上割戻引当金	10,310	9,173
返品調整引当金	42,050	40,050
その他	250,941	240,082
流動負債合計	6,146,501	4,091,181
固定負債		
社債	—	232,000
長期借入金	—	481,850
退職給付引当金	77,543	69,920
資産除去債務	2,050	—
その他	597,476	415,040
固定負債合計	677,069	1,198,810
負債合計	6,823,571	5,289,992

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,857,196	1,857,196
資本剰余金	1,577,320	1,577,320
利益剰余金	3,254,408	4,369,737
自己株式	△22,640	△22,640
株主資本合計	6,666,283	7,781,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	148,401	91,594
土地再評価差額金	△2,526,342	△2,800,789
その他の包括利益累計額合計	△2,377,940	△2,709,195
純資産合計	4,288,342	5,072,417
負債純資産合計	11,111,913	10,362,409

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	4,892,903	4,872,384
売上原価	3,138,778	3,151,011
売上総利益	1,754,125	1,721,373
返品調整引当金戻入額	44,584	42,050
返品調整引当金繰入額	42,741	40,050
差引売上総利益	1,755,968	1,723,373
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	67,319	68,615
販売促進費	305,397	276,373
広告宣伝費	26,890	25,438
貸倒引当金繰入額	△18,142	△22,456
役員報酬	40,806	42,921
給料手当及び賞与	536,144	513,169
賞与引当金繰入額	93,100	91,000
退職給付費用	60,735	69,946
福利厚生費	105,062	103,186
旅費及び交通費	252,016	246,933
減価償却費	40,046	34,616
その他	255,599	228,977
販売費及び一般管理費合計	1,764,975	1,678,720
営業利益又は営業損失(△)	△9,007	44,652
営業外収益		
受取利息	170	136
受取配当金	7,155	6,617
不動産賃貸料	24,975	21,869
その他	8,980	7,369
営業外収益合計	41,281	35,993
営業外費用		
支払利息	33,861	25,630
社債利息	—	118
社債発行費償却	—	6,350
不動産賃貸費用	20,464	17,364
貸倒引当金繰入額	—	382
その他	1,369	467
営業外費用合計	55,694	50,313
経常利益又は経常損失(△)	△23,421	30,333
特別利益		
固定資産売却益	—	750,510
投資有価証券売却益	—	4,700
特別利益合計	—	755,210



(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
特別損失		
固定資産除却損	23	—
投資有価証券売却損	—	2,396
投資有価証券評価損	8,726	1,079
特別損失合計	8,750	3,475
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△32,171	782,068
法人税、住民税及び事業税	2,740	69,636
法人税等調整額	△2,352	△149,914
法人税等合計	388	△80,277
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△32,559	862,345
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△32,559	862,345

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△32,559	862,345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,240	△56,807
その他の包括利益合計	△18,240	△56,807
四半期包括利益	△50,799	805,538
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△50,799	805,538
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△32,171	782,068
減価償却費	44,777	38,208
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,058	△7,622
賞与引当金の増減額(△は減少)	115	△15,400
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26,274	△57,718
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△1,843	△2,000
その他の引当金の増減額(△は減少)	495	△1,137
受取利息及び受取配当金	△7,325	△6,754
支払利息	33,861	25,630
社債利息	—	118
社債発行費償却	—	6,350
投資有価証券評価損益(△は益)	8,726	1,079
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△2,304
固定資産売却損益(△は益)	—	△750,510
固定資産除却損	23	—
売上債権の増減額(△は増加)	302,704	270,971
たな卸資産の増減額(△は増加)	△47,916	△130,717
仕入債務の増減額(△は減少)	△74,582	55,626
未払消費税等の増減額(△は減少)	△22,477	△3,914
その他	12,041	△22,655
小計	187,096	179,320
利息及び配当金の受取額	7,279	6,892
利息の支払額	△38,683	△24,406
法人税等の支払額	△5,890	△6,023
営業活動によるキャッシュ・フロー	149,801	155,782
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	2,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,353	△950
有形固定資産の売却による収入	—	1,293,600
投資有価証券の取得による支出	△3,002	△25,002
投資有価証券の売却による収入	—	25,468
貸付けによる支出	△1,000	—
貸付金の回収による収入	735	945
保険積立金の解約による収入	18,358	3,425
その他	△1,320	2,362
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,417	1,299,849
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,084,960	△2,316,020
長期借入れによる収入	—	610,000
長期借入金の返済による支出	△1,363,510	△14,380
社債の発行による収入	—	283,649
リース債務の返済による支出	△6,196	△6,216
配当金の支払額	—	△21,463
財務活動によるキャッシュ・フロー	△284,746	△1,464,430

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△120,527	△8,798
現金及び現金同等物の期首残高	1,158,288	1,036,518
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,037,760	1,027,720

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項ありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項ありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	きもの事業	ジュエリー 事業	ファッション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,869,075	907,672	1,116,155	4,892,903	—	4,892,903
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,869,075	907,672	1,116,155	4,892,903	—	4,892,903
セグメント利益又はセグメン ト損失 (△)	38,403	△7,211	134,523	165,714	△174,722	△9,007

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△174,722千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は総務・人事・経理・情報部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	きもの事業	ジュエリー 事業	ファッション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,905,586	861,194	1,105,603	4,872,384	—	4,872,384
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,905,586	861,194	1,105,603	4,872,384	—	4,872,384
セグメント利益	60,467	14,390	126,837	201,695	△157,042	44,652

(注) 1. セグメント利益の調整額△157,042千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は総務・人事・経理・情報部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項ありません。